

☆土砂災害に対する全国統一防災訓練

平成20年度から「土砂災害に対する全国統一防災訓練」に参加しています。

実施日は、6月の第1日曜日に実施している「地震防災訓練」と同日で、地区を持ち回りに行っています。平成20年度は宝地区、今年度は東桂地区で行いました。来年度以降につきましては、現在、県が行っている「土砂災害防止法に基づく基礎調査」が終了した地区を選定し、順次行つていきます。

訓練内容

○市の職員が行う訓練

災害対策本部設置訓練、避難勧告発令訓練、避難指示発令訓練

○消防本部・消防団が行う訓練

情報受伝達訓練

○自主防災会が行う訓練

避難・誘導訓練、土のうづくり及び土のう積み訓練、防災講習会の開催、危険区域の地図展示

☆総合防災訓練

防災体制の確立と市民の防災意識の高揚を図ることを目的に、地震予知から災害応急対策までの総合的な地震防災訓練を、防災関係機関や自主防災会などと連携して、防災週間(8月30日～9月5日)の日曜日を中心として「総合防災訓練」を行っています。(自主防災会や学校などもこの時期に実施しています)

今年度は9月27日(日)に実施します!

訓練は、午前8時ごろから防災行政無

線の一齐放送にて始まります。

メイン会場は、谷村工業高等学校校庭です。訓練内容は、次の項目を予定していますので、積極的にご参加ください。

訓練内容

○市の職員が行う訓練

情報受伝達訓練、非常参集訓練、地震災害対策本部・災害対策本部設置運営訓練、現地災害対策本部設置運営訓練

○消防本部・消防団が行う訓練

情報受伝達訓練、非常参集訓練、救出・救護訓練、建物消火訓練

○自主防災会が行う訓練

避難・誘導訓練、初期消火訓練、障害者避難誘導訓練、簡易トイレ組立訓練、応急手当訓練、給水訓練、発電機操作訓練

○日赤奉仕団が行う訓練

炊き出し訓練

○都留市防災ネットアマチュア無線クラブが行う訓練

無線通信訓練

☆協働のまちづくり推進会が行う

防災訓練

平成13年度に東桂地区が協働のまちづくり推進会を立ち上げて以来、平成17年度までにすべての地区(7地区)で設置され、各地区ともに地域課題の解決に向けた事業に取り組んでいます。その中でも「防災」に関する取り組みは全地区で実施しており、関心の深さが

うかがえます。推進会が行う防災対策事業は、主に次のとおりです。地域の皆さんは積極的に参加・協力し、防災力の強化に努めてください。日程などは、広報つる「協働通信」でお知らせしていきます。

《各地域協働のまちづくり推進会の取り組み》

○谷村協働のまちづくり推進会

○安心防災カードの発行・普及

○市民運動会で土のうづくり競争

○防災講演会の開催 など

○三吉協働のまちづくり推進会

○防災講演会の開催 など

○開地協働のまちづくり推進会

○防災マップの作成(全自主防災会)

○防災講演会の開催 など

○東桂協働のまちづくり推進会

○防災講演会の開催

○土砂災害防災訓練 など

○宝協働のまちづくり推進会

○防災講演会の開催

○土砂災害防災訓練

○救急救命講習の促進

○防災マップの作成促進 など

○新生協働のまちづくり推進会

○防災マップの作成(全自主防災会)

○防災講演会の開催

○救急救命講習の促進

○防災アンケートの実施 など

○盛里協働のまちづくり推進会

○安心防災カード全戸世帯配布

○防災備蓄倉庫・自主防災会資器材倉庫の確認と現状把握

○救急救命訓練の実施 など

災害時の応援協定など

市が大災害に見舞われた時には、様々な機関へ応援を要請する必要があります。中でも、人命にかかわる事態や避難生活を余儀なくされた場合には、自衛隊の派遣を県知事に要請しなければなりません。それ以外にも多くの機関からの支援が必要となり、平常時から大災害に備えた応援体制を築いていくことが重要となります。

災害時の相互応援協定	県内の12市と締結
相互援助協定	関東から東北にかけての12市町と締結
災害時における応急対策業務に関する協定	県建設業協会都留支部と締結
災害時における災害対策車両への燃料供給に関する協定	市内のガソリンスタンドと締結
災害時における情報収集及び伝達に関する応援協定	都留市防災ネットアマチュア無線クラブと締結
災害時における情報連絡体制	東京電力と防災担当の連絡体制を強化
地域貢献型自動販売機電光掲示板設置(市役所前、いきいきプラザ)	災害時に自動販売機内の飲み物を無料提供